

楽天マーケットスピードRSS補完ツール(ExtRSS.exe)

ver2.00

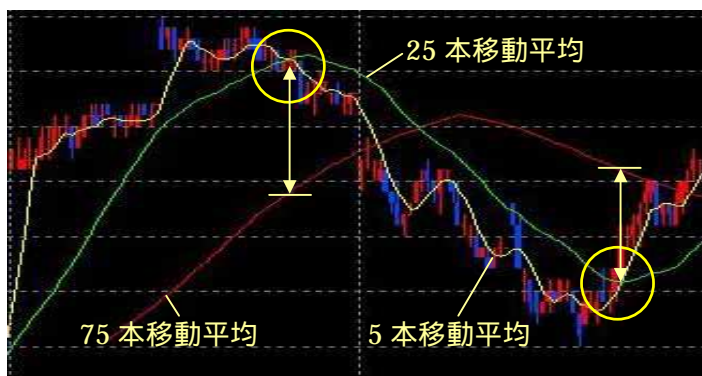
1. 概要

- ・5分足の（5本、25本、75本、など）移動平均値をリアルタイムでExcel等に配信。
（ DDE クライアント機能があれば Excel 以外でも可。）
- ・1 PC 当たり 299 銘柄監視可能。（ CSV ファイルで銘柄指定。）
- ・使い方は簡単！ RSS と同様、Excel のセルに
「=ExtRSS|銘柄コード.市場コード!情報コード」と記述するだけ。

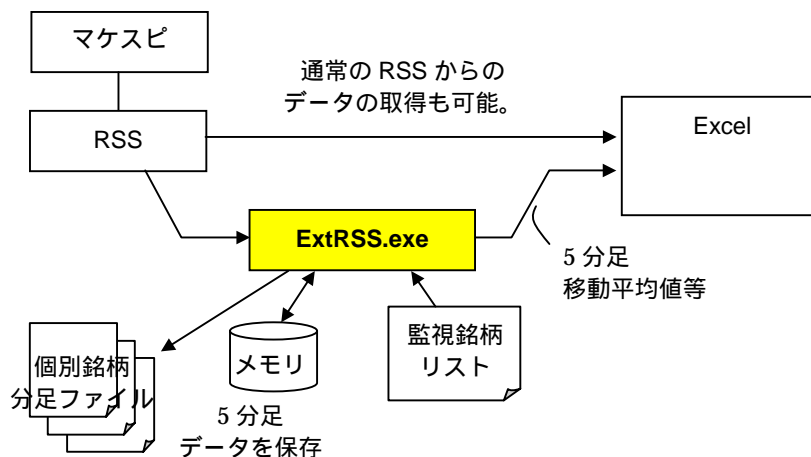
メリット

- ・従来、移動平均を使って売買タイミングを計る手法は、チャートを見ながらでない
とできませんでした。このため多数の銘柄を同時に監視することは困難で、せいぜい
数 10 銘柄を監視することが限界でした。
・・・が、この ExtRSS.exe を使えば、数 100 銘柄を同時に効率的に監視することが
でき、売買のチャンスを捕らえることができます。

移動平均を使った売買チャンスの例



システム構成



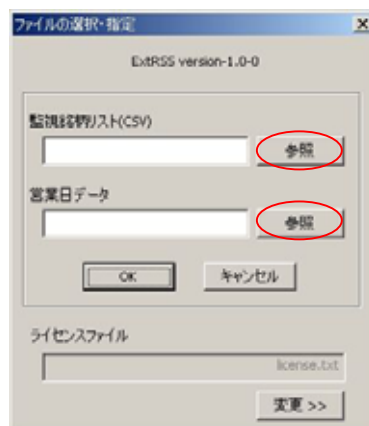
2. 起動手順

- () 起動する前に、ExtRSS.exe のあるディレクトリに以下のファイル（ディレクトリ）をあらかじめご準備ください。

起動に必要なファイル

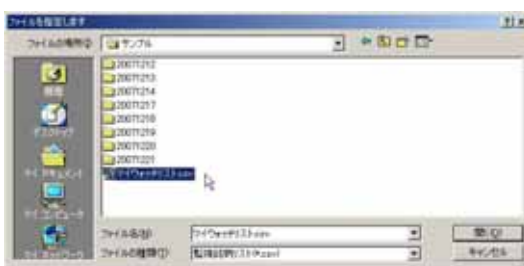
	種類	ファイル名	備考
	「ライセンスファイル」	license.txt	登録時に発行された内容で作成しておいて下さい。
	「監視銘柄リスト」	*.csv	5章ご覧下さい。名前は任意。あらかじめ作成しておいて下さい。
	「営業日データ」	*.txt	6章ご覧下さい。名前は任意。あらかじめ作成しておいて下さい。
	前日、前々日、3 営業日前の分足データ	*.csv	6章、7章ご覧下さい。

- 最初に楽天「マーケットスピード」を起動しログインしておいて下さい。ログイン完了後に「リアルタイムスプレッドシート (RSS.exe)」を起動します。
- 次に"ExtRSS.exe"のアイコンをダブルクリックして起動します。すると最初に次のようなダイアログボックスが現れます。

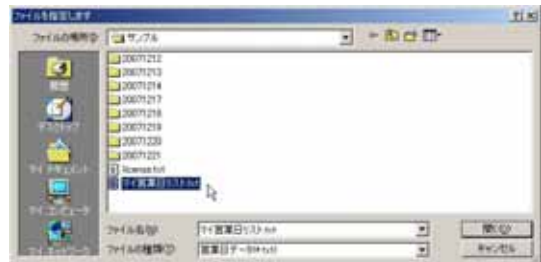


- 「監視銘柄リスト」「営業日データ」ファイルをそれぞれ指定します。「参照」ボタンをクリックするとファイル選択画面からファイルを指定できます。（下図）

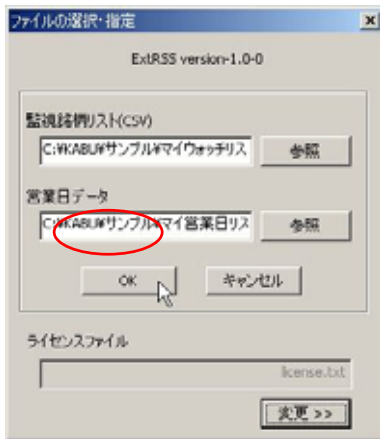
「監視銘柄リスト」ファイル



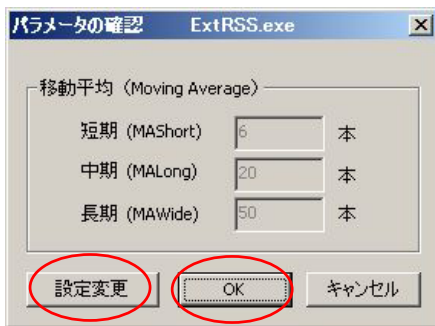
「営業日データ」ファイル



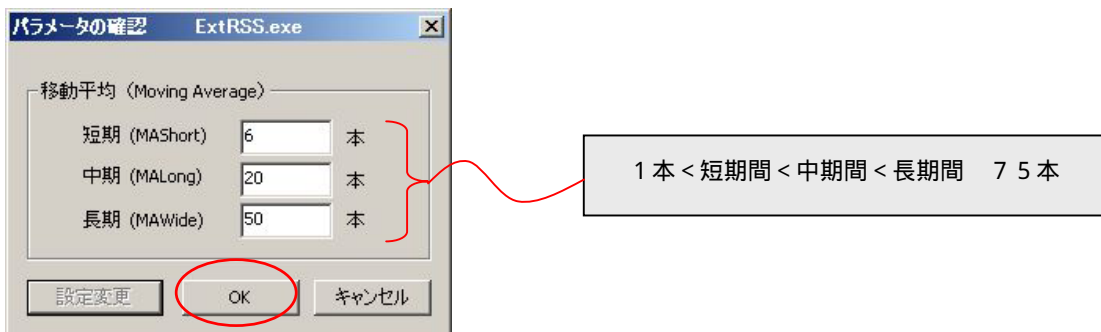
- (4) 「監視銘柄リスト」「営業日データ」ファイルの指定が済めば「OK」をクリックします。(下図)



- (5) その次に、パラメータの確認画面が表示されます。(下図)



移動平均の期間が表示されますので、変更しない場合は「OK」をクリックします。「設定変更」ボタンをクリックすると、値の設定が可能です。(下図)

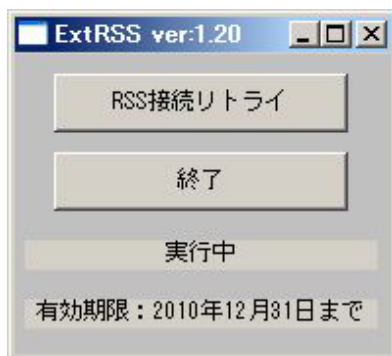


設定値の範囲は、1本 < 短期間 < 中期間 < 長期間 75本です。値を書き込んだら「OK」をクリックします。

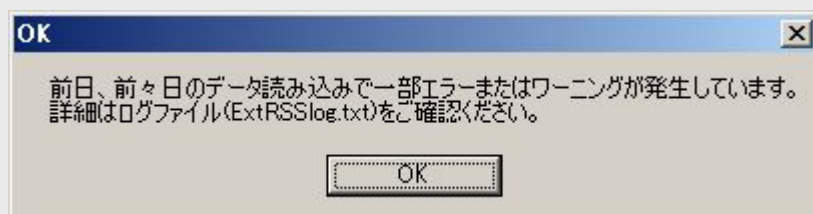
- (6) その後"ExtRSS.exe"は、「監視銘柄リスト」「営業日データ」の内容に基づき前日、前々日（場合によっては3日前まで）の分足データを読み込みます。（少し時間がかかります。下図の画面が表示されます。）



読み込みが終われば下図のようなウィンドウが表示され起動が完了です。



売買の出会いの少ない銘柄の場合、移動平均を計算するのに必要なローソク足の本数が不足する場合があります。この場合、下図のようなメッセージが表示されます。該当する銘柄については必要なローソク足データの蓄積ができるまで正しい移動平均の配信は行われません。



- (7) "ExtRSS.exe"が正常に起動できた後に、監視用 Excel ワークシートを開いて下さい。株価が変化する度に Excel シート上の該当するセルがリアルタイムで自動的に変化します。

必ず、ExtRSS 起動後に Excel ワークシートを開いて下さい。
先に開いていると、データの更新が行われません。

3. Excel シート上のセルへの数式記述方法

(1) 数式ルール

=ExtRSS|' 銘柄コード . 市場コード '!情報コード

例) =ExtRSS|'4755.Q'!MA5

楽天の株価 5 分足 5 本分の移動平均が表示されます。

(2) 各種コード

・銘柄コード

対象	銘柄コード
個別株	数字 4 桁の銘柄コード (証券コード)
日経 225 先物(ラージ)	N225.FUT01
日経 225 先物(ミニ)	N225M.FUT01

日経 225 先物は、期近のみ。(ExtRSS ver2.00 以降)

・市場コード

市場コード	市場
T	東証 (1 部、2 部)、マザーズ
OS	大証 (1 部、2 部)
OJ	ヘラクレス
Q	JASDAQ

上記以外には対応しておりません。

・情報コード

情報コード	内容
MAShort	5 分足短期間移動平均
MALong	5 分足中期間移動平均
MAWide	5 分足長期間移動平均
PrevMAShort	1 本前の 5 分足短期間移動平均
PrevMALong	1 本前の 5 分足中期間移動平均
PrevMAWide	1 本前の 5 分足長期間移動平均
RecentMax	直近 3 本の最大値
RecentMin	直近 3 本の最小値

「短期間」、「中期間」、「長期間」の本数は ExtRSS 起動時に確認、設定します。

4. 「ライセンスファイル」

[エンジョイ株投資 \(http://kabu.webyos.com/\)](http://kabu.webyos.com/) のサイトからユーザー登録した際に発行されるデータ (文字列) をそのままテキストファイルとして作成・保存して下さい。

「ライセンスファイル」のファイル名は license.txt がデフォルトとなっています。但し、ExtRSS.exe の起動の度にライセンスファイルの「変更」ボタンで任意のファイルを指定することができます。

ExtRSS.exe では使用期限を設けており、「ライセンスファイル」によって使用期限のチェックを行っています。使用期限を超えてさらに使用する場合は期限延長の手続きをお取り下さい。詳細はホームページをご覧ください。

5. 「監視銘柄リスト」ファイル

ExtRSS.exe ではあらかじめ監視する銘柄を指定しておく必要があります。監視する銘柄のリストはカンマ区切りのテキストファイル (CSV ファイル) で作成します。ノートパッドなどのテキストエディタや Excel で作成できます。

フォーマット

銘柄コード, 社名, 市場<改行>

例) 監視銘柄リストの内容

```
1320, ダイワ ETF, 大証 2 部  
6857, アドバンテスト, 東証 1 部  
4755, 楽天, JASDAQ  
4751, サイバーエージェント, マザーズ  
1408, サムシング, ヘラクレス  
N225M.FUT01, 225 先物ミニ, 大証
```

カンマ区切りのテキストファイル (CSV ファイル)。ファイルの拡張子は.csv としておいて下さい。

・ 銘柄コード

数字 4 桁の銘柄コード (証券コード)
日経 225 先物 (ラージ) は、N225.FUT01
日経 225 先物 (ミニ) は、N225M.FUT01

・ 社名

略称などご自身で識別できる名前を入力して下さい。

・ 市場

"東証 1 部"、"東証 2 部"、"大証 1 部"、"大証 2 部"、"大証"、"JASDAQ"、"ヘラクレス"、"マザーズ"のみに対応しています。

"1"、"2"、"JASDAQ"は半角英数字です。全角ではExtRSS.exe 起動時にエラーとなります。

6. 「営業日データ」ファイル（分足データ格納先の指定）

ExtRSS.exe は 5 分足の 5 本、25 本、75 本移動平均を寄付きから配信するために、前日、前々日（売買の出会いの少ない場合は 3 営業日前まで）の分足データを読み込みます。

過去 3 営業日の分足データ格納先を指定するファイルが「**営業日データ**」ファイルです。

ExtRSS.exe は大引けの後、**自動的にその日の日付けを「営業日データ」ファイルに追加**します。ただし 10 行を越える分については順次削除して行きます。

フォーマット

営業日の年（西暦）、月、日を 8 桁の数字で表します。

例）営業日データの内容

```
20071228  
20071227  
20071226  
20071225
```

テキストファイルです。（文字は半角）

ファイルの拡張子は .txt としておいて下さい。

1 行目が前営業日、以降前々日、3 営業日前、・・・となります。

前日までの分足データの準備

ExtRSS.exe を実行すると、「監視銘柄リスト」の銘柄について、当日の 5 分足データを自動的に作成しファイルに保存します。

毎営業日に寄付きから大引けまで ExtRSS.exe を起動させておけば、「**監視銘柄リスト**」の日々の 5 分足データがその営業日のディレクトリに蓄積されて行きますので、前日までの分足データを準備する作業は特に必要ありません。

ただし、**初めて ExtRSS.exe を使用する**場合や、**監視銘柄を追加する**場合はご自身で前日までの分足データを用意する必要があります。

前日までの分足データが準備できなくても ExtRSS.exe は、その日の分足データを蓄積します。そして、5 本、25 本、75 本分のデータが蓄積できた時点から有効な移動平均値の配信を行います。

ローソク足が不足している場合、**負の符号付きの値**が配信されます。

ご自身で前日データの準備ができない場合は、ExtRSS.exe がデータの蓄積を終えるまで待つということも 1 つの方法です。

個別銘柄の分足データは、ネット上に無料で公開しているサイトもあります（2008 年 1 月時点）ので、それらを有効に活用してみてください。

7. 分足データの保存ルール

ExtRSS.exe では、分足データは営業日を 8 桁表記したディレクトリ内に格納して行きます。
1 銘柄につき 1 つの CSV ファイルを作成、保存します。

ファイル名

銘柄コード.市場コード.csv

・銘柄コード

数字 4 桁の銘柄コード（証券コード）
日経 225 先物(ラージ)は、N225.FUT01
日経 225 先物(ミニ)は、 N225M.FUT01

・市場コード

2 桁の数字で表します。

市場コード	市場
11	東証 1 部
12	東証 2 部
21	大証 1 部、大証
22	大証 2 部
91	JASDAQ
24	ヘラクレス
13	マザーズ

例) ファイル名

1320.22.csv	=> ダイワ ETF, 大証 2 部
6857.11.csv	=> アドバンテスト, 東証 1 部
4755.91.csv	=> 楽天, JASDAQ
4751.13.csv	=> サイバーエージェント, マザーズ
1408.24.csv	=> サムシング, ヘラクレス
N225.FUT01.21.csv	=> 225 先物

フォーマット

時刻, 始値, 高値, 安値, 終値, 出来高<改行>

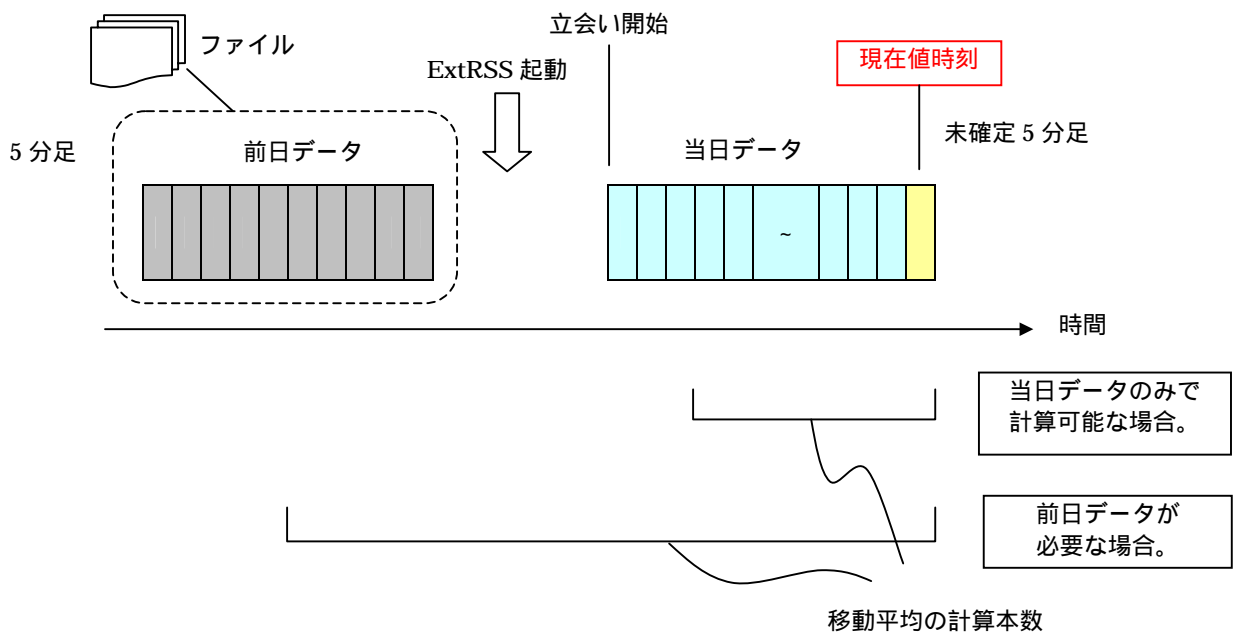
例) 分足データファイルの内容

09:00, 404, 406, 404, 406, 728000
09:05, 405, 405, 405, 405, 14000
09:10, 405, 405, 404, 405, 23500
09:15, 405, 405, 404, 404, 121500

8. 注意事項

(1) 移動平均値の計算について（前日データが正しくない場合についての注意）

ExtRSS では、起動直後からでも移動平均値を配信できるように前日の5分足データをファイルから読み込んで移動平均の計算をするようにしています。



移動平均計算本数が当日のローソク足の本数よりも大きい場合、前日のデータを読み込みます（上図参照）。

前日データが正しい値であれば問題ありませんが、前日データが正しくない場合は配信される移動平均の値も正しくありません。正しいかどうかはご自身の責任で判断して下さい。

もし、前日データがない時（ファイルが存在しない場合）や、前日データのローソク足本数が不足している場合は、配信される移動平均値は明らかに誤った値となります。この場合、目印として**マイナスの符号**が付加されて配信されます。

立会い時間と、移動平均の連続性について

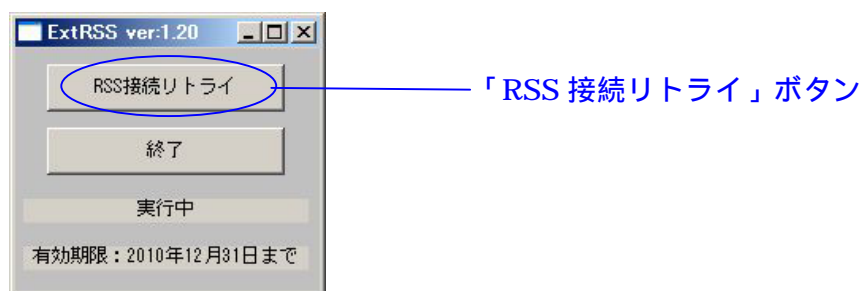
225先物の場合、ほぼ終日取引が行われております。前日データを全てファイルで保存されている場合は問題ありませんが、特定の取引時間の分しか前日データがない場合は、移動平均は正しくありませんので注意が必要です。

ただし、意図的にナイトセッションのデータを無視して、日中立会いのみのデータでトレードを行う手法もあるかと思えます。そのような場合は、移動平均の連続性は損なわれますが、それを承知の上で使用するかどうかはご自身の責任で判断して下さい。

(2) マーケットスピード、RSSの接続不良について

楽天マーケットスピード、RSS.exe はまれに接続不良を引き起こす場合があります。この時株価のリアルタイムな取得、更新ができなくなるため ExtRSS.exe も正常な情報の配信ができなくなってしまいます。

このような場合には、接続を復活させるためにマーケットスピード、RSSを起動し直した上で、下図の「RSS 接続リトライ」ボタンを押してください。



接続不良の状態が5分以上続いた場合やその期間に株価が大きく動いた場合には、ExtRSS.exe 内で保持する5分足データにズレや狂いが生じるため配信される情報にもズレや狂いが生じます。

(3) ザラ場中での ExtRSS.exe の再起動について

ExtRSS.exe では、ザラ場中に再起動するとメモリ上に蓄積した株価の5分足データ情報がクリアされるため以後、正常な株価情報の配信ができなくなってしまいます。ザラ場中は再起動しないで下さい。止むを得ず再起動した場合は、配信される情報は売買の参考にしないで下さい。

(4) 出会いの少ない銘柄について

1日に数回しか売買成立しないような出会いの極端に少ない銘柄は5分足の移動平均が正しく計算できませんので ExtRSS.exe の監視銘柄には適していません。

また、STOP 安または STOP 高張り付きが3営業日以内にあった銘柄も5分足データが十分に蓄積されるまで、ExtRSS.exe が配信する情報は正しくない可能性があります。ご注意ください。

(5) Excel との通信異常時

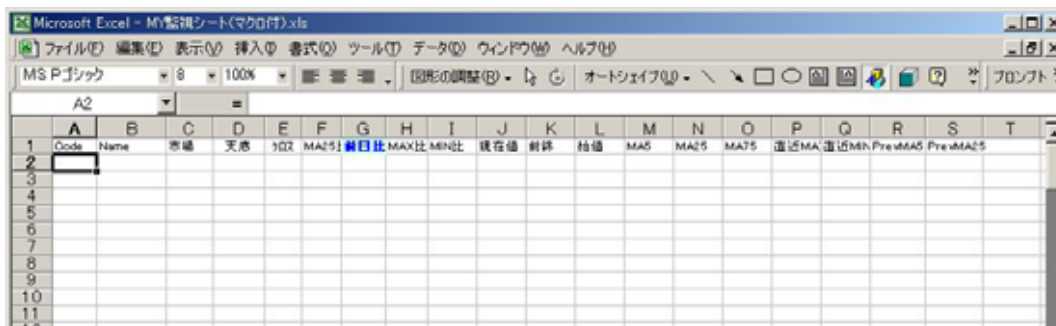
Excel シートの値が最新の値に更新されなくなった場合、Excel ファイルを一旦閉じて、再度ファイルを開いてみて下さい。

9. 免責事項

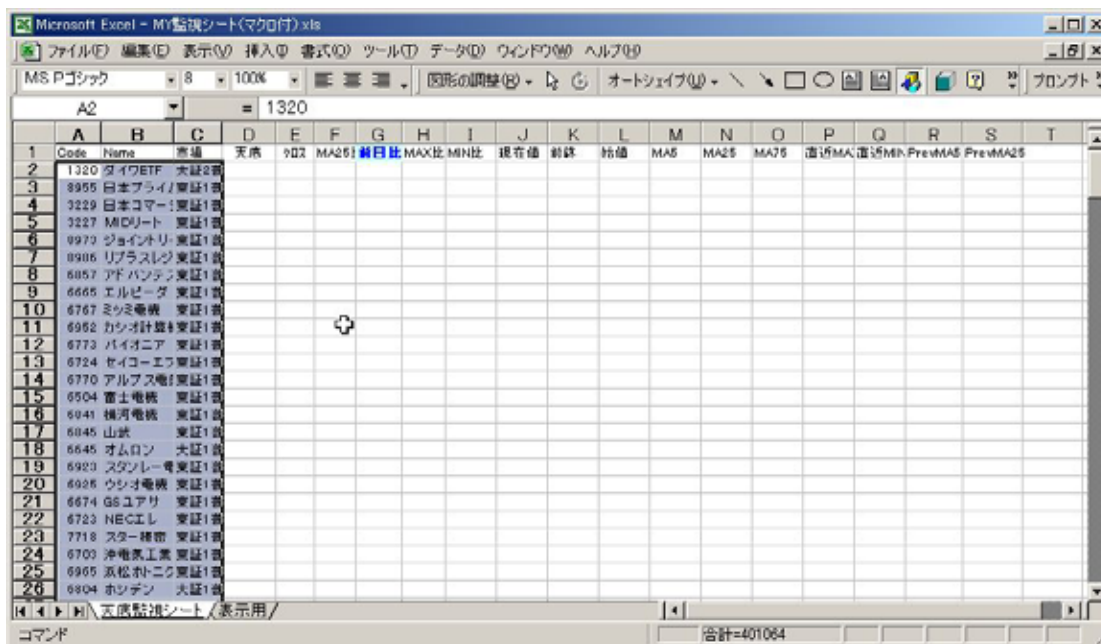
- ・ ExtRSS.exe はマーケットスピード、RSS（リアルタイムスプレッドシート）から配信される株価データに一定の情報処理を行って配信しています。処理の正確さには万全を期しておりますが、何らかの理由により誤りがある可能性があります。配信するデータの正確性につきましてはいかなる保証をするものではありません。
- ・ ExtRSS.exe が配信するデータの利用にあたっては、ご利用者の判断や、それに基づき被った損害については一切責任を負いません。
- ・ 投資に関する最終決定はご利用者の責任で行ってください。

10. 付録の「サンプル Excel シート (マクロ付)」使い方

ファイルを開く。

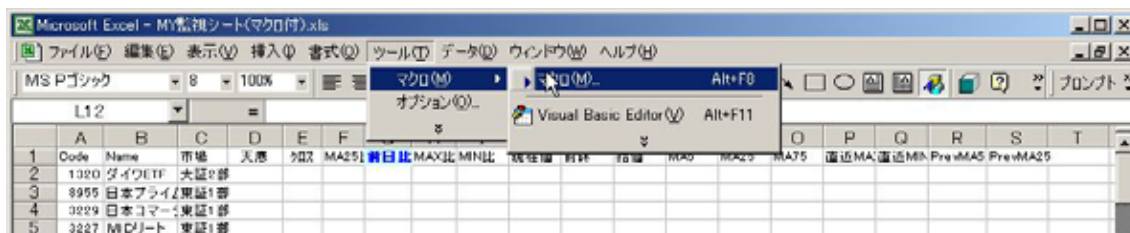


「銘柄コード」、「社名」、「市場」セルを埋めます。
(監視銘柄リスト.csv からコピー 貼り付け)



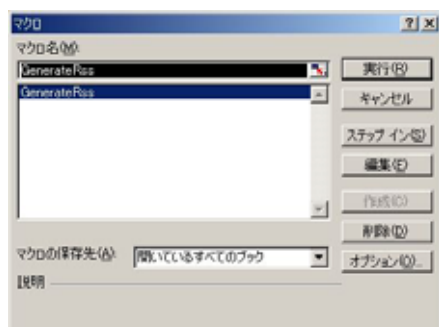
マクロ実行 (1)

「ツール」 「マクロ」 「マクロ」を選択。

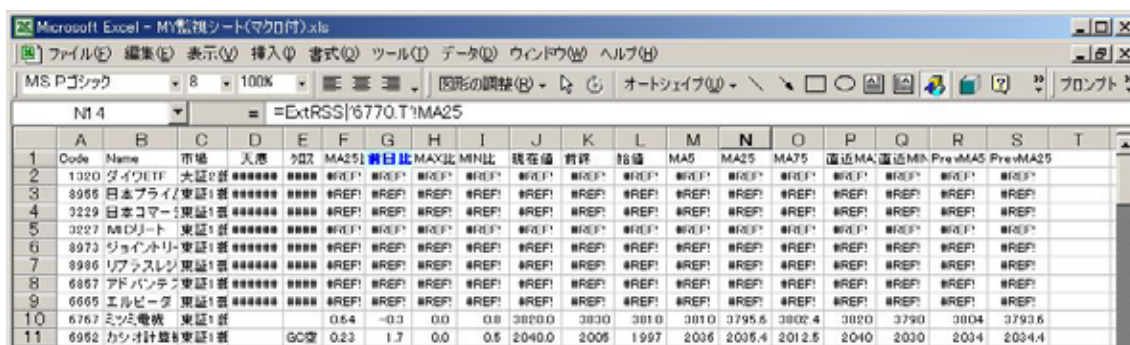


マクロ実行 (2)

「GenerateRss」マクロを選択し「実行」



マクロによって、空欄のセルが埋められます。



保存します。

次回開いた時に最新の株価が反映されるようになります。

(「マーケットスピード」, 「RSS.exe」, 「ExtRSS.exe」が起動された状態で開いて下さい。)

ファイルオープン時に、次のメッセージが出ます。

「はい」を選択して下さい。

「いいえ」を選択すると株価の更新が行われません。

